

国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

GUIDEBOOK

遺伝カウンセリング分野

医療福祉学研究科

- 修士課程 保健医療学専攻 遺伝カウンセリング分野
- 博士課程 保健医療学専攻 医療遺伝学分野



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

ごあいさつ



分野責任者

西垣 昌和 教授

遺伝カウンセリングでは、人々が「遺伝」について考えるときに直面する悩みや心配事に対して、人々自身が対処していく力を発揮できるように、遺伝カウンセラーとのコミュニケーションプロセスを通して支援します。

遺伝子やゲノムの情報に基づいた医療が現実のものとなり、人々が「遺伝」について考える機会は増え、遺伝カウンセリングへのニーズは着実に高まっています。本分野では、遺伝カウンセリングの専門家である認定遺伝カウンセラーを養成する課程として、遺伝学、ゲノム医学、遺伝カウンセリングの基礎から、それらの様々な分野における応用を網羅的に学ぶ講義と演習・実習群を開講しています。認定遺伝カウンセラーとして、「遺伝」と直面する人々の支援をする意欲のある方の入学を歓迎します。

経 歴

東京大学卒、保健学博士。

東京大学大学院成人看護学分野助教・講師、ノースカロライナ大学チャペルヒル校看護学部国際客員研究員、京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻基礎看護学講座准教授・特定教授を経て現職。ほか、東京大学医学部附属病院臨床ゲノム診療部、国立循環器病研究センター遺伝相談室、京都大学医学部附属病院遺伝子診療部にて遺伝カウンセリングに従事。看護師、保健師、認定遺伝カウンセラー。

遺伝カウンセリング分野について

遺伝医療・ゲノム医療の実践には、遺伝カウンセリングの専門家が必須です。本大学院の遺伝カウンセリング分野では、豊かな人間性と確固たる専門性を持ち、人々と遺伝医療・ゲノム医療の架け橋となる遺伝カウンセリングの専門職である、認定遺伝カウンセラーを育成します。

■ 認定遺伝カウンセラーとは？

認定遺伝カウンセラーは、遺伝医療・ゲノム医療を必要としている患者や家族が、適切な遺伝に関する情報や社会の支援体制等を含む様々な情報について理解することを助け、心理的・社会的サポートを通して、当事者の適応や自律的な意思決定を支援する保健医療専門職です。認定遺伝カウンセラーは、日本人類遺伝学会と日本遺伝カウンセリング学会が共同認定している資格です。

■ 国際医療福祉大学大学院 遺伝カウンセリング分野の特長

- ◆ ゲノム医療・遺伝カウンセリングの一線で活躍する講師陣による教育
- ◆ 理論・根拠に基づいた実践を重視したカリキュラム
- ◆ 多彩なグループ病院、実習施設での学習
- ◆ 社会人の方に配慮したカリキュラム*

* 夜間、土曜日の開講、各所からのアクセス至便な都心のキャンパス

詳細は国際医療福祉大学大学院のホームページをご覧ください

国際医療福祉大学大学院

検索

分野の概要

- 取得可能な学位

修士（遺伝カウンセリング学）
- 募集人員

若干名（6名程度）
- 修業年限

2年（長期履修制度あり）
- 受講地

東京赤坂キャンパス
- 出願資格

大学院ホームページより募集要項をご確認ください
<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/admission/requirement/>
- カリキュラム

修了要件37単位（非医療職者は40単位）＋ 課題研究の審査

学年	講 義			研 究	実 習	その他
1年 前期	基礎人類遺伝学Ⅰ・Ⅱ 基礎人類遺伝学演習 臨床遺伝学 臨床病態生理学Ⅰ・Ⅱ	遺伝カウンセリング概論 医療カウンセリング 遺伝カウンセリング演習 遺伝医療と社会・倫理	共通 科目	遺伝カウンセリング 課題研究指導Ⅰ		院内カンファレンス・学会・セミナー参加
1年 後期	臨床遺伝学演習 遺伝情報学演習	遺伝カウンセリング演習 遺伝医療倫理演習 遺伝カウンセリング演習Ⅱ		遺伝カウンセリング 課題研究指導Ⅱ	遺伝カウンセリング実習Ⅰ (グループ内病院)	
2年 前期	ゲノム解析技術と ゲノムインフォマティクス			遺伝カウンセリング 研究課題指導Ⅲ	遺伝カウンセリング実習Ⅱ (グループ内病院、東大病院、 がん研有明病院、国立がん研 究センター、都立小児総合医 療センター、榊原記念病院)	
2年 後期				遺伝カウンセリング 課題研究指導Ⅳ		

出願に際して

出願前に、本分野の説明会に必ず1回はご参加いただき、担当教員と面談を行ってください。面談で許可を得たのちに、出願手続きをしてください。説明会の詳細につきましてはホームページをご確認ください。

教員紹介



辻 省次 教授

東京大学卒、医学博士。新潟大学脳研究所所長、東京大学大学院医学研究科脳神経医学専攻長、東京大学医学部附属病院ゲノム医学センター長等を経て、国際医療福祉大学医学部教授。臨床遺伝専門医・指導医。

後藤 順 教授

東京大学卒、医学博士。国際医療福祉大学医学部教授、国際医療福祉大学市川病院神経内科、臨床遺伝専門医・指導医。

岩崎 聡 教授

三重大学卒、医学博士。国際医療福祉大学医学部教授、国際医療福祉大学三田病院聴覚・人工内耳センター長、臨床遺伝専門医。

柿沼 敏行 教授

聖マリアンナ医科大学卒、日本医科大学大学院修了、医学博士。国際医療福祉大学医学部教授、国際医療福祉大学病院産婦人科部長、臨床遺伝専門医・指導医。

福嶋 佳菜子 助教

京都大学卒、京都大学大学院修了。認定遺伝カウンセラー。

在学生のメッセージ



安西 風花 さん 遺伝カウンセリング分野（修士課程）2年（取材時）

私は、本学学部卒業と同時に大学院に進学しました。学部生の時に学習した遺伝学の講義の中で、クライアントが遺伝現象に適應できるよう援助をする認定遺伝カウンセラーを知り、この分野で人の役に立ちたいと思い目指しました。また、多種多様な医療にかかわる人材の育成が盛んで、医療福祉に重きを置いている本学にて、遺伝カウンセラーとして適切な情報を収集し共有できるチーム医療の一員となるために最適な環境であると思い、本学大学院への入学を決めました。本分野は社会人の学生が多いことから、私は入学時から同級生と比較し知識量の差があることを心配していました。しかし、異なるバックグラウンドの学生が多数いることから、授業やゼミでは様々な意見が飛び交い、広い視野で物事を考えることができる環境があります。また、学習する機会も多くあることから次第に不安が和らいでいきました。ほどよく緊張感があり、仲間と切磋琢磨し合える環境の本学であなたも勉強してみませんか。



ゼミの様子

